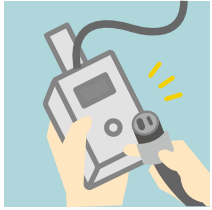


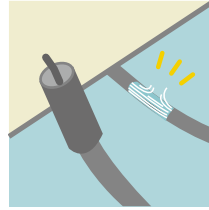
今月のテーマ 離床センサーの点検項目について

離床センサーは機械ですので、継続して使用していると衝撃を受けて傷んだり、経年により故障する場合があります。安全にお使いいただくには、1日1度の離床センサーの動作チェックを推奨しています。また、部品の異常がないか下記の項目を参考に、定期的に点検していただくと更に安心です。

1. 外観チェック


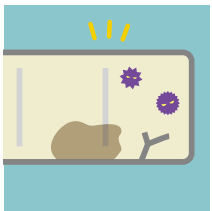
- ケース割れ
部品外れ・割れはないか？
- プラグ・スイッチ
ぐらつき・折れはないか？

対象 中継ボックス、ハイパー送信器
専用受信器等

2. ケーブル確認


- 断線していないか？
- プラグのピンは
折れていないか？

対象 中継ボックス、ケーブルタイプの
センサー、ACアダプタ等

3. マット確認


- 破れていないか？
- 汚れはひどくないか？

対象 コールマット、ベッドセンサー
サイドセンサー等

4. 付属品チェック


- セット内容の付属品が
揃っているか？

取扱説明書内のセット内容をご確認ください。

5. 動作チェック


- センサーを作動させる。
正しく報知するか？

色んな場所をくまなく踏み、
作動するかをチェックします！

報知しない場合…

製品が故障している または、設定が誤っている
可能性があります。

製品の故障の疑いがあり、修理が必要な場合は、
下記「テクノスジャパンの修理サービス」を
ご参考に販売店様へご連絡をお願いいたします。

□ テクノスジャパンの修理サービスについて

弊社では、修理品のお預かりからご返却までのスピード化を図ることでおお客様へのサービス向上に努めています。そのため修理品は迅速に点検を行い、早期に修理に着手し返却する「スピード修理対応」を行っています。

スピード修理対応は、修理内容に関わらず一律の定額料金を設ける

ことで、見積による料金確認の時間をなくし、該当する修理品が弊社に届き次第、すぐに修理を行います。これにより、お客様のもとへできるだけ早くご返却する修理体制を実現しています。

*修理内容によって定額料金に該当しない場合は事前の見積確認の上、修理に着手します。

*定額の料金については販売店様へご確認ください。

修理の流れ

定額料金になる修理の一例

- ・ マットスイッチ接続部断線
- ・ 中継ボックスプラグ内
コード断線
- ・ AC アダプタ断線 など